

# 大阪府に大きな被害をもたらした過去の気象事例 「平成7年（1995年）6月30日～7月6日の大雨」＜梅雨前線＞

梅雨前線が西日本に停滞。大阪府では総雨量が300ミリを超える大雨。

## 【概況】

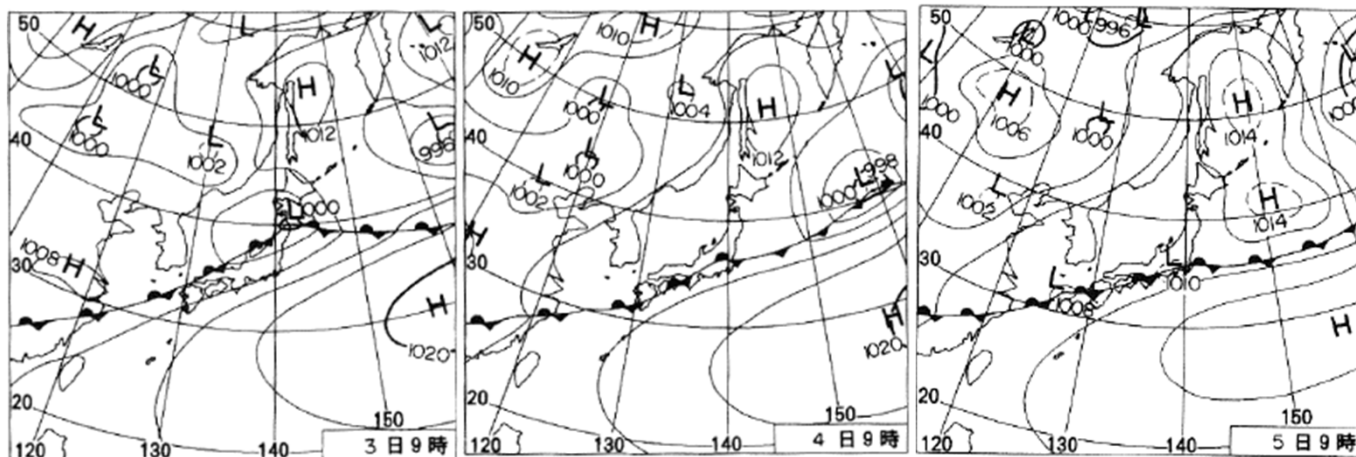
西日本に停滞していた梅雨前線が7月3日早朝からやや南下。活動が活発化するとともに、近畿中・南部に停滞した。大阪府では、時間40ミリ以上の短時間強雨など、降りはじめからの総雨量が300ミリ以上となる大雨となり、河川増水・山崖崩れ・床上床下浸水などの被害が出た。大雨・洪水警報を7月3日10時20分から14時30分、7月4日06時30分から14時00分、洪水警報を17時00分まで発表した。

大阪府の6月30日から7月6日までの期間降水量（多い所）：大阪320.0ミリ、枚方308ミリ、生駒山306ミリ

人的被害：死者0名

住家被害：床上浸水69戸、床下浸水3,668戸

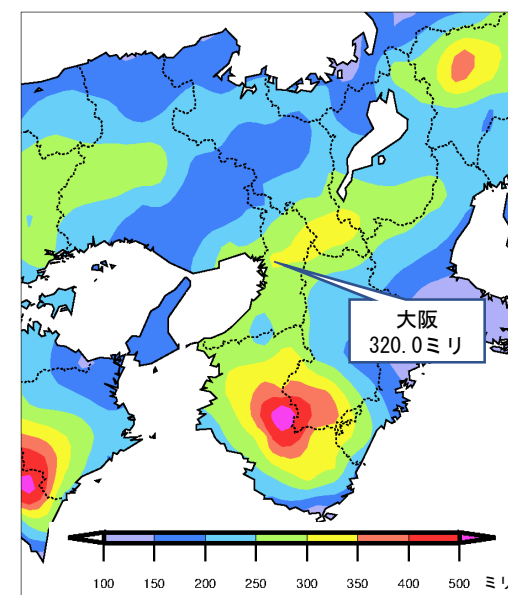
（被害状況：大阪府ホームページ「大阪府を襲った主な災害」より）



地上天気図 7月3日09時

地上天気図 7月4日09時

地上天気図 7月5日09時



降水量分布  
（期間：6月30日～7月6日）